

頸城中のさらなる発展に向けて～2学年朝会より～

2月3日（木）に行われた2学年朝会では、令和4年度の生徒会の総務や委員長の出選について、生徒会の正副会長から説明がありました。3年生の卒業が間近に迫り、いよいよ2年生が頸城中の生徒会を引っ張っていく立場になります。来年度の正副会長は、よりよい頸城中を目指し、また、自分たちの公約を実現すべくやる気に燃えています。2年生全体としても、リーダー体験や自治活動をねらいとし、学年独自の委員会活動に取り組んでいます。その活動を通して、リーダーとしての自覚や仲間を思いやる心が育ってきています。正副会長とともに力を合わせ、令和4年度の頸城中をさらに発展させてくれることでしょう。2年生の活躍にご期待ください。



伝統を受け継ぐ～1学年朝会より～



2月2日（水）に行われた1学年朝会では、「年男・年女の今年の抱負発表」や「もらいたい福・追い出したい鬼発表」の後、豆まきを行いました。もともと立春は新年の始まりとされており、その立春の前日が節分です。そのため、一年の締めくくりをする大晦日にあたる節分には、厄や災難をお祓いする行事が行われるため豆まきが始まったと言われています。1年生では、1月に学級活動で「百人一首」

を行うなど、日本の伝統的な行事を大切にしています。このような活動が学校生活にメリハリを付けたり、日本だけでなく、地域や学校の伝統を大切にしようとする精神を育むことにつながります。1年間で大きな成長が見て取れる1年生。もうすぐ後輩が入学し、中堅学年になります。今後、ますますの飛躍が期待できます。



頸城中生徒の活躍 ～これからも応援をお願いします～

◆第22回上越地区小中学生俳句大会 特選 「秋の暮 すける葉の裏 茜空」
秋の夕暮れどき、なにげなくもみじの葉を眺めていると、葉の裏から茜空に照らされて、葉が赤く見えた情景を俳句にしました。
文芸部 橋本 愛恵 さん（2年）

コロナ対応への感謝と今後のお願いについて 校長 田中 敦

市内小中学校、保育園や様々な事業所等において、コロナ感染者がたくさん出ています。保護者の皆様におかれましては、この間、ご心配をおかけしています。そのような状況でも、適切な対応（「家族や通っている職場、学校で、感染者や濃厚接触者が出たとき、自主的にお子様を登校させない。」「登校後、生徒の体調がすぐれないときに下校させるようにしていますが、速やかに学校に迎えに来てくださる。」、など）をとっていただいていることに感謝しております。今後、当校においても、生徒や職員が、いつ感染してもおかしくない状況にあります。

感染者が出たとき、感染者を特定するような行動をとること、感染者への誹謗（ひぼう）や中傷、事実と異なる噂を流すなどの行為は、日頃から当校で合言葉の一つとしている「思いやり」に欠ける行為であると同時に、犯罪にもつながる行為です。どうか、今まで同様、お子様の模範となるような言動をとっていただければ幸いです。

町内回覧

学校だより



頸城中HPにアクセス！

頸城

令和4年2月14日 No. 10
上越市立頸城中学校
〒942-0164 頸城区潟口60
TEL 530-2405 FAX 530-2014
学校メール kubiki-j@jorne.or.jp

今、みなさんに伝えたいこと 校長 田中 敦

3年生はもう少しで卒業を迎えようとしています。まだまだ先のことと思っておりましたが、時がたつのは早いものです。これから県立高校の入試に臨む生徒がほとんどなので、あまり実感がわかない生徒が多いのかもしれません。高校に入学すれば、それで終わりではありません。今まで以上に責任が重くなるのです。自分自身で何が正しく、どのように行動しなければならないのか判断しなければいけません。それができなければ、それなりの責任を自分自身でとらなければなりません。例えば、高校では、基準の成績（テストの点数）や出席日数を超えなければ進級することはできなくなります。学校や社会のルールを守れなければ、学校に行きたくても行けなくなったり、やめなければいけなくなったりします。つまり大人扱いされるのです。高校生を見ていると、案そうだなとか楽しそうだなと思うかもしれませんが、多くの高校生はそのような責任を果たしているのです。社会に出たら一層厳しくなります。あなた自身の仕事ぶりが、会社等に貢献しているのかを評価されるのです。職種によっては、髪の毛の色や形を「こうしたい」と思っても、会社等の方針でそのような自由を認められないことがあるのです。ただ、上司に言われたことをやっていればよいわけではありません。自分で何が必要なのか判断し、どのように行動していけば、会社や社会に貢献できるのかを考え実行していかなければならないのです。そのために世の中の動きや人々のニーズを把握する必要もあるのです。仕事がつらいとか面白くないから、すぐにやめてしまうなんてことは許されないのです。

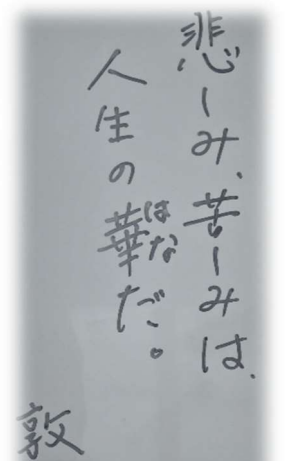
しかし、頸城中のみなさんならば私の心配していることなど杞憂に終わるのでしょうか。自分自身で判断し、仲間と協力しながら自分の責任を果たしていけるのではないのでしょうか。それくらいの力を身に付けている生徒がたくさんいるのです。私は、あえて2つのことを今、伝えたいと思っています。

① 素直な心

「素直な心はどういう心であるのかといいますと、それは単に人にさからわず、従順であるというようなことだけではありません。むしろ本当の意味の素直さというものは、力強く、積極的な内容を持つものだと思います。

つまり、素直な心とは、私心もなく曇りのない心というか、一つのことにとらわれずに、物事があるがままに見ようとする心といえるでしょう。そういう心からは、物事の実相をつかむ力も生まれてくるのではないかと思います。

だから、素直な心というものは、心理をつかむ働きのある心だと思います。物事の真実を見極めて、それに適応していく心だと思うのです。」（『松下幸之助 一日一話』より）



2/8校長メッセージより

人が伸びるための要素には、いろいろなものがあると思いますが一番大事なことは「素直な心」をもつことだと思います。常に澄んだ心と五感で物事を受け止め、真摯な態度で行動していくことが大事なのです。そのようなことが、目上の人から可愛がられ、後輩たちからは尊敬されることになるのではないかと思います。何かを頼まれたときに、不平不満を言ったり、自分が悪いのに人のせいにしたり、自分がしてしまった過ちを人のせいにしたり、しらばくれたりする人がいます。そういう人たちには、自分の言動を振り返り、正していくことが肝要なのです。そんな繰り返し、自分自身の失敗を減らすことにつながるのではないかと思います。今まで、そのやり方でうまくいったり切り抜けたりしてきた人もいたでしょうが、これからはそううまくいかないはず。「素直な心」もち、正々堂々と歩いてほしいのです。

② 忍耐力

雨にも負けず

宮沢賢治

雨にも負けず 風にも負けず
雪にも夏の暑さにも負けぬ
丈夫なからだをもち
慾はなく 決して瞋（いか）らず
いつも静かに笑っている
一日に玄米四合と
味噌と少しの野菜を食べ
あらゆることを
自分を勘定に入れずに
よく見聞きしわかり
そして忘れず
野原の松の林の陰の
小さな萱（かや）ぶきの小屋にいて
東に病氣の子供あれば
行って看病してやり
西に疲れた母あれば
行ってその稲の束を負い
南に死にそうな人あれば
行ってこわがらなくてもいいといい
北に喧嘩や訴訟があれば
つまらないからやめろといい
日照りの時は涙を流し
寒さの夏はおろおろ歩き
みんなにでくのぼーと呼ばれ
ほめられもせず
苦にもされず
そういうものに
わたしはなりたい

私も含め、現代人は「我慢が足りない」と言われます。私も約60年生きてきましたが、人生のほとんどはつらかったり、不安に思ったり、我慢しなければならなかったりの連続でした。楽しかったり、嬉しかったりしたことなどほんの一瞬だったような気がします。高校に進学すれば、今よりも難しくて退屈な勉強が待っています。つらくて長い練習の部活が待っています。社会に出れば、面倒な仕事があります。そんなことから逃げ出さずに立ち向かっていってほしいと思います。

私は苦しい時に宮沢賢治の「雨にも負けず」を読みます。この詩に何度、人としてあらねばならない姿を教えてもらったかわかりません。また、自分もこの詩のような生き方をしたいと思っていますが、意志が弱く、なかなかこうはいきません。みなさんにとって、これからの人生、必ずしも良いことばかりではありません。しかし、そのようなことに負けず、力の限り生きてほしいのです。つらいこと、うまくいかないときは、とにかく「我慢」なのです。「我慢」できる忍耐力を身につけてほしいのです。

1・2 年スキー教室

1月18日（火）、キューピットパレイスキー場にて、1・2年生のスキー教室を実施しました。当日は、あいにくの空模様でしたが、時折風も穏やかになり、大きなけがやトラブルもなく終えることができました。インストラクターのみなさんから、頸城中の生徒の素直に指導を受ける態度をほめていただきました。



卒業に向けて～3学年の総合より～



2月1日（火）の総合的な学習の時間に、卒業証書授与式に向けて、意識を高められるよう学年集会を行いました。卒業記念合唱が「時を越えて」に決まりました。頸城中をリードし、様々な実績を作ってきた3年生の、感謝や感動、達成感など、様々な思いがこもった素晴らしい合唱になると思います。ご期待ください。

3月7日（月）に行われる卒業証書授与式は、昨年度と同様に、卒業生とご家族、教職員のみ参加で行うこととしました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている現状を踏まえ、なにとぞご理解をお願い申し上げます。

時を越えて

君の夢が一つ 叶おうとしているね
熱い思い重ねて たどり着いた場所
ここまでの道のりが 長く厳しかったこと
たくましくなった君の背中が 教えてくれる
この日の喜びと この日の悔しさを
忘れないように 深く 胸に 刻み込もう
精一杯の声を出した この瞬間がいつかきつと
君が生きていく 力に 変わる時が来るから
君の夢が一つ 生まれようとしてい
るね
何度も迷いながら たどり着いた道
あの日が ゴールじゃなくて スタ
ートだったんだと
真っ直ぐに 輝く君の瞳が 気づかせてくれた
あの日の喜びと あの日の悔しさを
つまづいた時は そっと 思い出して
みよう
精一杯の力出した あの瞬間はいつ
かきつと
君が生きていく 誇りに 変わる時が
来るから
精一杯の汗と 涙 流した 数だけきつ
と
君が生きていく 強さに 変わる時が
来るから
時を越えて 羽ばたいて